

鹿骨小学校・松本小学校 第7回合同会議・第5回統合準備委員会 議事録（要旨）

【日 時】

令和7年2月10日（月）18時30分～19時10分

【場 所】

鹿骨小学校 会議室

【事務局説明】

1 これまでの統合準備の振り返り（校章制作、校帽制作、学用品全体の方針）

2 新しい校歌の制作

これまで制作を進めてきた校歌の完成した音源を確認。

3 通学路の検討

学校を中心に新しい通学路を検討。1月は学校・PTA・教育委員会・土木部・警察が参加して合同点検を実施した。実際の通学路を歩きながら安全対策について協議した。

4 児童交流

新校に向けて子どもたちの不安軽減のために、学校間での児童交流を企画。今年に入ってから、1月に2年生が屋内レクで交流、2月には5年生がウィンタースクールで交流を図った。子どもたちが積極的に交流する様子がみられ、「楽しかった」「また遊びたい」との声が聞かれた。

5 閉校式典

鹿骨小は2/22（土）、松本小は3/1（土）に閉校式典を実施する。また、両校とも式典同日に卒業制作等見学会を実施し、地域の方や卒業生が校舎内を見学できるイベントを予定。式典終了後は、残っている鹿骨小校舎内の改修工事や卒業制作等の撤去を進めていく。

6 年度末の引越し作業

3/26から土日を除き4日間かけて引越し作業を行う。

【意見交換内容】

○工期延長による子どもたちへの影響が心配されたが、児童交流など、両校が協力して準備を進めてきてくれたことがわかり安心した。

○新しい校歌を聴いた感想として、非常に良い歌だと感じた。新校になって子どもたちが歌う様子を楽しみにしたい。

○説明資料の中に新校の通学路図があるが、通学区域の端部から通う子どもはどの程度の時間歩くことになるのか。

⇒子どもの歩くスピードで20～25分ほどになる。（事務局）

- 建築費の高騰により鹿骨松本小の新校舎や他の改築校の計画は大変な局面を迎えていると思う。教育委員会は学校や子どもたちのために引き続き頑張ってもらいたい。
- ここまで新校の準備を進めてきてくれた学校には非常に感謝している。
- 自身の孫が児童交流に参加し「楽しかった」と話す様子を見てきたため、両校の子ども同士が仲良くなることには心配は不要だと感じた。
- 両校長はここまで新校の準備を整えるのに大変な苦勞をされたと思う。統合してからも子どもたちを見守っていくことが大切であるため、引き続きよろしくお願ひしたい。
- 統合の準備を始めた当初は考えないといけない課題が本当に数多くあり、不安が大きかった。しかし、教育委員会のサポート、地域の皆さんのご意見をいただきながら、ともにスムーズに進んでいくことができた。新校になっても課題はあると思うが、都度皆さんと相談しながら良い学校づくりを行っていきたい。(鹿骨小校長)
- 準備を始めた当初は課題が多く不安があった。それでも閉校まで2か月を切る時期までできている。先日のウィンタースクールでは子どもたちが積極的に交流をしている姿が嬉しく、教師冥利に尽きるなとしみじみ感じた。新校になっても両校の良い所を活かしながら、子どもたちが楽しく安全に生活できる環境をつくっていきたい。(松本小校長)
- 児童交流にあたっては、子どもたちのために両校長が力を合わせて進めてきてくれたことに感謝申し上げたい。また、地域の皆様の支えあつての学校である。新校になっても地域で鹿骨松本小を支えていけるよう協力をお願いしたい。(学校施設課長)

以上